

# 語学検定 I・II

Language Proficiency Tests I・II

素養科目 全学年／前・後期 1 単位または 2 単位 単位認定科目

科目責任者 林 弘美(英語・英語学研究室)

## ■ 教育目的

- ・これまで培ってきた英語の力を客観的に評価し、今後の英語学習の目標を定める。
- ・将来の海外留学、海外研修、大学院進学、外資系企業への就職などに対する関心を高める。

## ■ 学習到達目標

TOEIC L&R 700 点以上 (TOEIC(S&W を含む) 1000 点以上)、あるいは TOEFL-iBT 65 点または TOEFL-ITP 500 点以上相当のスコアを達成する。

## ■ 準備学習 (予習・復習)

予習：各自に合った TOEIC あるいは TOEFL の参考書を一冊仕上げる。

復習：英語に対する興味を持ち続け、各自の弱点を補強する勉強方法を身につける。

## ■ 授業形態

課題解決型学習

## ■ 課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法

●過去 2 年間に受験した語学検定試験の結果を単位認定の対象とする。評価は、① TOEIC L&R 800 点 (TOEIC(S&W を含む) 1100 点以上) 以上、② TOEFL-iBT 80 点以上、③ TOEFL-ITP 550 点以上、④英検 1 級、⑤独検 1 級、⑥中検 1 級、準 1 級、⑦ HSK 5 級(獲得スコア 180 点以上)、6 級(獲得スコア 180 点以上)、の場合に語学検定 II を「S」とし、それ以外は評価を「A」とする。

●評価の変更の申請は、当科目の単位を最初に取得した年度内とする。

●「語学検定 II」の単位を取得するとき、もし「語学検定 I」の単位を未取得であるなら、併せて「語学検定 I」の単位も認定される。

(注)

TOEIC：Test of English for International Communication (財団法人国際ビジネスコミュニケーション)公開テストおよび IP (団体特別受験制度)がある。

TOEFL：Test of English as a Foreign Language (財団法人国際ビジネスコミュニケーション)

英検：「実用英語技能検定試験」(財団法人日本英語検定協会)

独検：「ドイツ語技能検定試験」(財団法人ドイツ語学文学振興会)

中検：「中国語検定」(財団法人 日本中国語検定協会)

HSK：「漢語水平考試」(中華人民共和国政府教育部)

## ■ 単位認定方法

大学の授業科目以外で行われる語学検定試験において、所定の成績を修めた場合、語学選択科目の単位として、2 単位まで認定する。

●「語学検定 I」(1 単位)の単位として認められる語学検定試験とその成績

TOEIC L&R 600 点以上

TOEIC(S&W を含む) 800 点以上

TOEFL-iBT 50 点以上

TOEFL-ITP 450 点以上

英検準 1 級

独検 3 級

中検 3 級

HSK3 級

●「語学検定 II」(1 単位)の単位として認められる語学検定試験とその成績

TOEIC L&R 700 点以上

TOEIC(S&W を含む) 1000 点以上

TOEFL-iBT 65 点以上

TOEFL-ITP 500 点以上

英検 1 級

独検 1、2 級

中検 1 級、準 1 級、2 級

HSK 4 級、5 級(獲得スコア 180 点以上)、6 級(獲得スコア 180 点以上)